

## 広島県空港振興協議会「空港活性化部会（第2回会議）」について

### 1 概要

広島空港の将来像や今後の運営のあり方等について検討するため、広島県空港振興協議会に県、市町及び経済団体等を構成員とする専門部会として設置した「空港活性化部会」の第2回会議を次のとおり開催した。

### 2 会議内容

(1) 日 時 平成28年2月10日(水) 10:00~12:00

(2) 会 場 広島県庁北館4階 第3委員会室

(3) 出席者 出席者名簿のとおり

(4) 主な内容

ア 空港経営改革について有識者からの意見聴取

(講師：国土交通省 航空局 航空ネットワーク部 航空ネットワーク企画課長 みやざわ こういち 宮澤 康一氏)

イ 広島空港の今後の方向性について委員からの意見・提案

ウ 空港運営のあり方について意見交換

(5) 資 料 別添のとおり

(6) 出席者からの主な意見

#### 1 広島空港の今後の方向性について

- ① 広島空港が今後担う役割として、インバウンドに力点が置かれているが、これまで広島空港を支えてきたアウトバウンドを維持していく視点も継続してほしい。
- ② LCCの活力を呼び込むことは重要だが、LCCは撤退が早いという側面もあるので、実際に取組みを進めるにあたっては、路線の状況やタイミングも見ながら誘致を進めてほしい。
- ③ 定時性を確保するうえで山陽自動車道の渋滞を緩和することも重要であり、リニア中央新幹線の完成までにこの課題を最小限にするため、今後の具体的な取組みとして東広島・安芸バイパスの早期完成を目指すことも必要ではないか。

## 2 空港運営のあり方について

- ① 空港運営の一体化や民間委託は世界的な流れであり、方向性としては避けられないものと思うが、国管理部分は赤字という現状もあり、民間に委ねた場合に収支が成り立つかどうかも重要。結果として赤字を民間に押し付けたということになってはならない。
- ② 収支の問題も重要だが、議論をその部分に収斂させるのではなく、今後の取組みを加速させる手段として、空港経営改革が有効かどうかという視点で考えていくことが重要だと思う。
- ③ 広島空港は、空ビルに民間出身の社長が就任して、ここ数年で大きく改善しており、プロパー管理職の登用など体制強化も図られている。空港経営改革を進めていく場合においても、これらの取組みを土台として生かしていくことが重要である。
- ④ 空港経営改革を進めていくとすれば、地元企業がどのような形で関わっていくかということも考えておく必要があるのではないかと。

## 3 今後の予定

平成 28 年 3 月下旬に第 3 回会議を開催予定（調整中）。  
広島空港の今後の運営のあり方について議論を深める。